

講義名	研究演習（全学部）				
講義コード	25227	授業形態		開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5 時限
担当教員	辻 周吾			サンパリング・コード	SEM250
学部・学科				演習分野	
全学部				異文化経営	
概要説明					
本演習は、異文化経営のテーマについて扱います。具体的な内容は、「職場における外国人社員のビジネス日本語」、「職場における日本人と外国人の異文化コミュニケーション」、「海外現地における日本企業の異文化経営」、「日本国内における外国企業の異文化経営」などです。 2 回生後期の授業では、N2 レベルの日本語能力の強化を目的とした指導、研究発表の準備の仕方の指導、グループ発表の指導などを行います。本演習では、まず、大学生活に必要とされる日本語能力を確実にすることを目標としています。また、グループ発表を通して、研究の基礎を身につけることを目標にしています。					
主な卒業論文のタイトル					
・日本人学生・中国人留学生・ベトナム人留学生の起業家精神について ・日本における海底撈火鍋のマーケティングについて ・日本におけるCoCo都可のマーケティングについて ・日本におけるスターバックスのマーケティングについて ・日本における海底撈火鍋と小肥羊のマーケティングの比較について ・中国におけるコロナ禍の医療ビジネスについて ・日本・ベトナム・スリランカにおけるマクドナルドのマーケティングについて					
教員よりの要望					
無断欠席はしないでください。					
選考方法					
事前に、ゼミ紹介の資料を確認してください。 研究演習申込書や面接などによって選考します。					

評価方法	
出席状況、授業への参加度、演習での発表、提出課題など、総合的に評価します。	
教員英字氏名	研究室
Tsujii Shugo	研究棟 209号室
最終学歴	
近畿大学大学院 商学研究科 商学専攻 博士後期課程修了	
京都外国語大学大学院 外国語学研究科 異言語・文化領域 博士後期課程修了	
学位	
博士（商学）、博士（言語文化学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
（主な研究業績）	
著書 ・辻周吾（2022）『日本企業における人的資源管理に関する研究：日本人と中国人の異文化コミュニケーションの視点から』（千倉書房）	
論文 ・辻周吾（2022）「日本人学生と中国人留学生の起業家精神について—日本国内の大学におけるアンケート調査から—」『日本創造学会論文誌』(25)、pp.245-261 ・辻周吾（2022）「日本語の『すみません』の特徴について—どのような場面で使用されるのか—」『国際言語文化学会 日本学研究』第7号、pp.19-38 ・辻周吾（2021）「日本企業における中国人従業員の人的資源管理に関する一考察—中国人従業員へのインタビュー調査から—」『アジア経営研究』(27)、pp.83-95 ・辻周吾（2019）「関于在日本企業の中国職員の跨文化交際—以日本国内的日本企業案例」『国際言語文化学会 日本学研究』第5号、pp. 161-170 ・辻周吾（2018）「日本企業における中国人社員の異文化間コミュニケーション考察—創造性開発の視点からの異文化マネジメントの提言—」『日本創造学会論文誌』21号、pp.64-75 ・辻周吾（2018）「日本企業における中国人社員への日本語教育—新しいビジネス日本語について考える—」『国際言語文化学会 日本学研究』第3号、pp.33-42 ・辻周吾（2011）「中国進出日系企業における日本語コミュニケーション教育」『スピーチ・コミュニケーション教育』第24号、pp.61-82	
趣味・特技	
特技は、留学していたこともあり中国語です。	
所属	
商学部 経営学科	
所属学会	
異文化経営学会、アジア経営学会、関西ベンチャー学会、日本コミュニケーション学会	
専門分野	
異文化コミュニケーション、日本語教育、人的資源管理	
担当科目	
自己発見とキャリア開発、日本語資格試験講座、日本語資格試験講座、ビジネス日本語、ビジネス日本語、キャリア実践論、研究演習、研究演習、卒業研究	
備考	
実務経験の有無及び活用	